ビジョン策定までの取組経過

- 松永駅周辺活性化協議会第1回会議
  2024年（令和6年）8月8日（木）
- 第1回松永未来会議
  2024年（令和6年）9月30日（月）
- 松永未来会議ワークショップⅠ
  2024年（令和6年）10月13日（日）
- 松永駅周辺活性化協議会第2回会議
  2024年（令和6年）11月1日（金）
- 第2回松永未来会議
  2024年（令和6年）11月18日（月）
- 松永駅周辺にぎわい再生シンポジウム
  2024年（令和6年）12月16日（月）
- 松永未来会議ワークショップⅡ
  2025年（令和7年）1月18日（土）

市長との車座トーク
2025年（令和7年）2月6日（木）

- 松永駅周辺活性化協議会第3回会議
  2025年（令和7年）2月12日（水）
- 松永未来会議シンポジウム
  2025年（令和7年）3月26日（水）

松永駅周辺の魅力

自然・緑がある、景色がきれい、地域資源が多い、歴史・文化に触れられる、はきもの資料館、多くのクリーク、公園、駅利用者は多い、人の流れはある、多くの大学生、若者（福大・松高）、外国人が多い、多様性、北口は徒歩圏内ですべてそろう

めざすまちの姿

松永駅周辺活性化協議会・松永未来会議等でいただいた意見たち

集まる・つながる
- 人との交流が盛ん
- 気軽に集まれる場
- 人のたまり場がある
- 子どもたちのつながりが多い

安心・安全な暮らし
- 「継続性のあるにぎわい」と「住・暮らし」との共存
- 日々の生活が明るく、笑顔で、住みたくなるまちに

多文化共生
- 松永の歴史・文化を継承
- 日本文化と外国文化の交流

学生
- 大学生が出店できる場所を作る
- 学生による日本語教室
- 学業成果の発表の場
- 学生中心のまちづくり

情報発信
- 松永の良さをSNS等で配信
- 他地域からも人が集まるよう情報発信

駅北口
- 道路・歩道空間の改善
- 北口に若者が集う
- シャッター街をなくす
- 常設のウィンドウギャラリー
- アーケードをリノベーション

駅南口
- はきもの資料館の活用
- クリークの活用
- 地の利、多文化等強みを生かし人口増

皆さま、ありがとうございました！

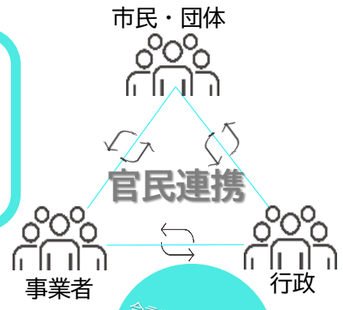
松永駅周辺にぎわい再生ビジョン

福山市・松永駅周辺活性化協議会・松永未来会議　2025.3

まちづくりの主体

まちづくりの推進にあたっては、官民がそれぞれの役割を担い相互に連携し、一体となって取り組んでいく必要があります。

市民・団体	自分たちのまちを自分たちでつくるという思いを持ち、主体的にまちづくりに参画する
事業者	パブリックマインドを持ち、事業活動を行う
行政	まちのにぎわいに向け関係機関・部署が連携して市民・団体や事業者をサポートする環境をつくる



合言葉は「まつながる」

推進にあたって（行動規範）

- まちの強みや課題を共有し、未来の姿（＝ビジョン）をみんなで描く。
- ビジョン実現に向け、多様な主体が行動・連携し、総力で取り組む。
- できること・やれることから実行する。（トライ＆エラー…and トライ）

問合せ先
福山市
松永支所松永地域振興課
Tel：084-934-5443
Mail:matsunaga-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp

ビジョン策定の目的

～ 未来から時間を流す ～

松永駅周辺のにぎわい再生には、目前の課題が山積みです。まずは、福山市西部エリアの中心拠点として、地域住民、事業者、行政がめざす松永駅周辺の未来の姿（＝ビジョン）を描き、共有します。その未来から現在に時間を流すことで、再生への道筋が見えてくるのではないでしょうか。

対象エリア

松永駅から徒歩平均7分～8分とします。

目標年次

おおむね20年後とします。

めざす松永駅周辺の姿

まつながへ集まる
そして、つながる ～住む・学ぶ・楽しむが一体となった松永駅周辺～

にぎわい再生に向けた5つのMATSUNAGA

01 “緑”と“光”歩きたくなる“まち”　THE MATSUNAGA

官民連携による道路空間と民間所有空間を一体的に活用し、子育て世代、学生等が安心・安全・快適に歩き、楽しめる空間を形成する

- 北口の歩道を歩きやすく（アーケードの撤去、リノベーション）
- 北口の道路空間や駐輪場でイベント（キッチンカー、マルシェ）
- 緑と光のある景観づくり（皆で花・木を植える、キャンドル、イルミネーション）

02 おとなもこどもも国籍も関係ない！みんなちがってみんないい！共生の“まち”　THE MATSUNAGA

子育て世代、外国人、学生等異なる世代や文化をもつ人々が集まり、交流し、楽しい時間を過ごせる場を創出し、地域のにぎわいと住みやすさを向上する

- 世代を超え多くの人が心地よく暮らせる、オアシスのような場をつくる
- 気軽に話せる場所・人の集える場所
- 他国の文化にふれあい、学ぶことのできるイベント（フード・アート）

03 新たなチャレンジを地域で育む“まち”　THE MATSUNAGA

地域に開かれた多様な学びの場を提供し、住民が新たなスキルや知識を身につけることができる環境を整える

- 学生や経営者が気軽につながる場所をつくる・起業できる気運づくり
- コワーキングスペース・フリースペース
- 学生による日本語教室やこども食堂、チャレンジショップ等の実施

連れていって

04 笑顔で未来へてーてって　だれもが楽しさを実感できる“まち”　THE MATSUNAGA

公共空間や民間所有空間などの新たな活用により、住民が気軽に立ち寄り、住民同士の交流が自然に促進される空間を形成する

- 新しさと懐かしさの融合
- まちを使った愛着教育
- 地域の人たちが自由に利用できるスペース

05 文化が出逢い、喜びが共有される“まち”　THE MATSUNAGA

既存の地域資源や文化施設等を活用し、行政や民間が連携し、駅周辺だけでなく松永地域全体の魅力を発信する

- はきもの資料館・クリークの活用
- SNS等、多様な媒体での情報発信
- 伝統文化・行事の継承